

## これからの時代

進路指導主事 細井哲明

暖かい日々が増え、春らしくなりました。

卒業・進級おめでとうございます。令和3年度が終わり、新たに令和4年度の新生活を迎える時期となります。春休みの間に、新生活に向けた準備をしっかりと行ってほしいと思います。

今年度を振り返ってみると、社会的に感染症対応による生活や学習の制限がありました。ワクチン接種が行われ、マスクの着用、体調チェック(体温・風邪症状等)が当たり前になり、健康に関わる気遣いが多い年でした。

また東京オリンピック・パラリンピック、北京オリンピック・パラリンピックが行われ、ダイバーシティ(多様性)が目に見える年でした。パラスポーツでの選手の活躍する姿が注目を浴びたり、若い日本人選手が、難易度の高い技に果敢にチャレンジしたあと、各国の選手たちが駆け寄り、称える姿がありました。障害の有無や年齢、国、人種、性別などの垣根なく、その人の取組を尊重し称賛する様子が印象に残っています。

学校の活動ではICT化が進みました。全校での授業はもちろんのこと、高等部では、生徒・保護者が進路面談や支援会議にオンラインで参加することもありました。進路先への交渉の中では、個々の特性だけでなく、本人が現場の皆さんと一緒にやっていけるか、現場の活動(目的)を理解しているか、現場の環境や合理的配慮、家族の支援で活動が継続可能であるかなどが、受入れ検討の鍵になっていました。

これからの時代、様々な個性の尊重やICT化はさらに加速する社会となるでしょう。(もしかしたらVRの世界で活動する福祉サービスも出現するかもしれません)その社会で生活していく子どもたちに向けて、我々は「個性をどのように伸ばし、支援するか」、「ICTの活用を上手にできるか、指導できるか」が求められるように思います。そして、当校を巣立っていく生徒は、社会で活動する多様な皆さんと良好に関わる力を求められます。

“卒業したら社会人”。社会の荒波で活動する卒業生は、10年前も今も変わらず、多様な皆さんとの関わりが求められています。活躍している卒業生は、一生懸命に活動し、素直なやり取りや取組をして良好な関係を作っている人たちが多いです。

子どもたちはカタツムリのような歩みで、時間をかけて少しずつ成長していきます。“卒業したら社会人”へ向けた成長の積み上げは、高等部だけではできません。それぞれのライフステージの中で、これからもできることを相談し、取り組んでいきましょう。

## < 当校の進路状況について >

高等部の進路状況についてお知らせいたします。今年度は、進路を見通すために非常に困難なケースが多く、前述の“受入れ検討の鍵”と共に適性や継続性、生活サイクルの現実性、支援体制や障がい者制度等、課題がありました。

4月からいよいよ社会人、新生活です。“決意”と“覚悟”をもって歩き出しましょう。

### < 令和3年度高等部卒業生の進路状況 >

卒業生	13名	
企業就労	4名	(製造・公務・物流・調理)
福祉サービス利用	8名	(就労移行・継続B・生活介護・生活訓練・施設入所)
その他	1名	



子どもたちに物事を教えたり、支援の手立てを考えたりする上で、「何が必要?」、「これが将来どうつながる?」、「いくら教えても、思惑どおりにいかない!」等々、ジレンマがあるかと思います。「特別支援教育の専門書を読んでもっと勉強を!」と思って勉強をしても、場面を逃して生かされないこともあります。

今、世の中ではいろいろな情報があふれています。全然別分野の情報が「もしかしたらあの場面の指導に通じる」とか、「そういう考え方で接すればいいのか…」とか、ひらめきや視座の変換、発想の転換、気構え、大事な決断につながるがあります。

身近な支援や指導の場面に感じ、はっとした言葉をいくつか紹介します。

#### ◎『BAHD防止にイフ・ゼン・プラン』… BAHD防止キャンペーンより

スポーツ指導に関わり、Bullying(いじめ) Abuse(虐待)、Harassment(いやがらせ)、Discrimination(差別)の頭文字をとった子どものスポーツBAHD防止キャンペーンがあります。その中でイフ・ゼン・プランというものがあります。「こんな場面ある～」と共感できる内容がありました。

そんな場面をイフ(If:もしもそういうふう)に感じてしまったら)とし、その時の考え方や実践の方向性をゼン(Then:現実的な解決方法)として、まとめられていました。子どもに対しても自分に対しても考えさせられる内容でした。(興味ある方は調べてみてください)



※SportsJapan vol60より引用

#### ◎『ぐっ、くるっ、ぱっ』… ドラマ3年A組 今から皆さんは、人質ですー より引用

忙しかったりすると「ああとりあえずこれでいいや」とやってしまうこともあります。これが繰り返されると、とりあえずの対応が毎日になってしまいます。大事な決断をする時には、『ぐっ』と踏みとどまって、『くるっ』と頭を一周させれば、『ぱっ』と正しい答えが浮かぶ』そんな風に考えてみようと思える“キーワード”として受け止めました。

◎『努力は裏切らない、という言葉は不正確です。正しい場所で、正しい方向を向いて、十分な量なされた努力は裏切らない、が正しいんです。』… 予備校講師 林修さんの言葉より引用  
努力しても報われないこともあります。ですが、今まで接した生徒・保護者・先生・支援者・地域の方々を見て「そうだよなあ」と感じた内容でした。

◎『最後まで…、希望を捨てちゃいかん。あきらめたらそこで試合終了だよ。』… スラムダンクより引用  
作中である先生の言葉ですが、何事にもつながる言葉だなと感じました。この言葉を支えに、あきらめずに取り組み続けることで成果につながることもありました。

雑誌、漫画、ドラマ、インターネット、有名人のインタビュー、CMなどちょっとした身の回りの言葉やなにげなく受け取っている情報から、自分の立場に共感できたり、はっとしたり、子どもたちへの指導・支援につながったりするものがあると思います。“気づき”から、“考えの転換”、“子どもたちへの明日への一步につながる発見”があるとうれしいですね。

今まで発行した進路だよりは当校のホームページに掲載しています。是非、御覧ください。

URL <http://www.koide-tk.nein.ed.jp/course.html>

新潟県立小出特別支援学校 進路指導部(細井哲明)  
TEL 025-792-5412 FAX 025-792-9270  
お問合せ等がございましたら、進路指導部まで御連絡ください。

